

平成 23 年度

事業報告書
決 算 書

一般社団法人 静岡県発明協会

平成23年度事業報告

会員数 平成23年4月 1日現在 法人会員156 個人会員57 計213
平成24年3月30日現在 法人会員 91 個人会員58 計149

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、その趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。

本年度も全国より多数の応募、推薦があり、本県は3社3件を推薦し下記の賞を受賞した。

受賞名	技術の名称	企業名	発明者
朝日新聞発明賞	古木化を促進して楽器の音色を改善する方法	ヤマハ(株)	阿部 裕康・藤井 順治

平成23年度全国発明表彰式

日 時 平成23年6月20日（月）

場 所 ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」

②関東地方発明表彰

本表彰は、地方において優秀な発明と認められると共に、その実施効果が高く地域産業の向上に寄与された方の功績を顕彰するものである。

本年度の表彰受賞総数は、184件484名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり9社9件の特許について推薦した。

平成23年度関東地方発明表彰式

日 時 平成23年11月30日（水）

場 所 ベルクラシック甲府（山梨県甲府市丸の内1-1-17）

平成23年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	氏名	会社名
発明協会会长奨励賞	空気調和機の快眠運転制御	清水克浩 矢ヶ部真一 東地広明	東芝キャリア(株)
静岡県知事賞	内径ホーニング加工装置	青木一披露 寺島寛志	ホンダトランミッショナニュアクチャリング 本田技研工業株式会社
静岡県発明協会会长賞	高品質過冷却冷凍機能搭載冷蔵庫	坂本克正 平岡利枝 平敷勇 八木田清 松本真理子 前田剛 小野香央里 半田真須美	三菱電機株式会社 〃 〃 〃 〃 〃 元三菱電機株式会社 元三菱電機株式会社

発明奨励賞6(8社19名)

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会と静岡科学館の共催、静岡県・県教育委員会・関東経済産業局・社団法人発明協会・日本弁理士会・市教育委員会・県市長会・県町村会・（財）しづおか産業創造機構、各報道機関の後援により、「第59回静岡県学生児童発明くふう展」と、「第34回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催し、平成23年11月4日（金）～11月13日（日）まで、静岡科学館る・ぐ・るにおいて展示会を行った。また、11月13日（日）には、同館において表彰式を挙行した。

ア、第59回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得させるとともに優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	32点	14点
中学生	87点	16点
合 計	119点	30点

上記県展で入選した作品の内から、小学生10点、中学生10点を第70回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々が受賞した。

受賞名	題名	学校名	学年	氏名
毎日新聞社賞	蛇口発電ライト チョウチンアンコウ三型	駿東郡清水町立清水中学校	中3	坂田 敏明
入選	シャイ（斜移）な宝箱	湖西市立岡崎小学校	小4	鈴木 圭

イ、第34回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現させるとともに優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	78点	20点
中学生	11点	5点
合 計	89点	25点

上記県展で入賞した25点を、全国展の第34回未来の科学の夢絵画展へ推薦し、次の方々が受賞した。

受賞名	題名	学校名	学年	氏名
文部科学大臣賞	地震を抑えるネジロボット	湖西市立岡崎小学校	小3	岩谷真里花
優秀賞	リサイクルと共に存できる世界	沼津市立第三中学校	中3	井谷穂乃香
奨励賞	未来のピアノ	静岡市立城北小学校	小1	山田 優花
奨励賞	みらいのあんぜんな町	静岡市立麻機小学校	小2	秋山凜人

ウ、後援

児童の創造性開発育成のため、下記に対し、後援した。

- 1) 第46回富士市発明くふう展後援
- 2) 第25回島田市小中学生アイディア工作展後援
- 3) 第29回湖西発明くふう展並びに第18回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第33回浜松市小・中学生発明くふう展後援

②科学技術に係わるワークショップの実施

学校以外で、小学生・中学生を対象に行う科学に関する研究・啓発・普及活動として、沼津国立高等専門学校の協力により、「静岡県学生児童発明くふう展」及び「静岡県未来の科学の夢絵画展」の開催に合わせ、ワークショップを開催した。

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び関東経済産業局から受託した産業財産権に関する事業を実施し、産業財産権制度の普及啓発に努めた。

①知的財産流通促進事業（県からの受託事業）

今年度は、県の単独事業としての初年度であり、国の知財総合支援窓口事業も開始年度であつたため、連携して事業を実施した。

また、各支援機関との連携強化に取り組み、流通支援を必要とする案件や企業情報が自ずと入ってくる環境の整備に努めた。

さらに、企業の知的財産に関する意識の底上げを図ることも重要と考え、積極的な支援事例の講演や当発明協会のホームページで、『静岡県知的財産 創造・保護・活用指針』をはじめ市町が行っている出願補助等の知財施策の広報に取り組んだ。

数値目標に関しては、成約件数こそ達しなかったが、その他は大きく目標値を達成することができた。

活動項目	目標	実績	達成率
訪問企業件数	180	238	132%
来訪指導件数	24	68	283%
マッチング件数	22	37	168%
成約件数	15	12	80%
事業化件数	4	8	200%
講習／講演	6	25	417%
合 計	251	388	

実施体制：特許流通アドバイザー 1人

②知財総合支援窓口（特許等取得活用支援事業）関東経済産業局からの受託事業

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア、支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人（自営業者）（以下、「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ、実施体制

中部（本部）1名、東部（沼津支所）1名、西部（浜松支所）1名

ウ、知財専門家の活用

窓口支援担当者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と共同して、中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

1) 知財専門家の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士を始め、課題解決に適した人材を選定した。

2) 外部の知財専門家による相談対応等

知財専門家は、中小企業等のニーズに柔軟に対応し、事業活動の各段階における様々な課題と対応する解決方法等について踏み込んだ指導・助言を行い、解決支援にあたった。

エ、支援実績

項目	目標	実績	達成率
窓口相談受付	1,800件	1,570件	87%
企業訪問	100件	162件	162%
有効に活用できていない中小企業支援	110件	116件	105%
専門家との共同支援	100回	136回	136%
専門家派遣	75回	125回	167%

数値目標は、窓口受付件数のみ、達成率は87%となっているが、その他、企業訪問や有効に活用できていない中小企業支援等については、目標値を達成できた。

1) 知財を有効に活用できていない中小企業等発掘（訪問等）

潜在的な知的財産権に対するニーズはあるが、知的財産権の知識や意識が不足している、これから知的財産を活用したいと考えている等、まだ知的財産権の相談に踏み出していない中小企業等を発掘・訪問し、知的財産に関する啓発活動を行った。

2) 知財専門家による支援実績

知財専門家による支援実績は、弁理士232件、弁護士7件、中小企業診断士2件、特許流通アドバイザー202件、技術コーディネータ16件、経営コーディネータ48件、知財コーディネータ3件及び海外知的財産プロデューサー11件となっている。

3) 支援内容の分析

相談者種別をみると、中小企業の経営者及び従業員等からの相談が1,381件、70.8%を占めており、次いで個人（事業主）が403件、20.7%となっており、併せて1,784件、91.5%とそのほとんどを占めている。

相談者種別

上段（系列1）：件数、下段（系列2）：構成比率

中小企業			大企業	個人	公設試験場
経営者	その他	計			
924	457	1,381	22	403	5
47.4	23.4	70.8	1.1	20.7	0.3
団体	大学・高専等	特許事務所	自治体	その他	計
48	13	2	28	47	1,949
2.5	0.7	0.1	1.4	2.4	100.0

この事業を知った先では、窓口からの案内が 780 件、33.0%で最も多くなっている。次に中小企業支援センターの 434 件、18.4%、特許庁の 313 件、13.2%と続いており、中小企業等に行つた広報・周知に効果があったことが窺える。

この事業を知った先

上段（系列 1）：件数、下段（系列 2）：構成比率

特 patent 庁	経済産業局	地方自治体	I N P I T	金融機関	商工会・商工会議所	中小企業支援センター
313	62	164	1	48	271	434
13.2	2.6	6.9	0.0	2.0	11.5	18.4
弁理士	各種支援機関	窓口からの案内	新聞・雑誌	その他	計	
59	104	780	6	123	2,365	
2.5	4.4	33.0	0.3	5.2	100.0	

知財区分では、特許がもっとも多く、1,066 件、46.4%を占めている。次に商標の 720 件、31.4%となっている。

知財区分

上段（系列 1）：件数、下段（系列 2）：構成比率

特 patent	実用新案	意匠	商標	その他	計
1,066	227	221	720	62	2,296
46.4	9.9	9.6	31.4	2.7	100.0

職業別では、製造業の 851 件、43.7%で次にサービス業の 459 件、23.5%と続いている。

職業・職種

上段（系列 1）：件数、下段（系列 2）：構成比率

製造業	サービス業	卸・小売業	農業・漁業	土木・建築業	その他	計
851	459	197	57	41	344	1,949
43.7	23.5	10.1	2.9	2.1	17.7	100.0

相談種別では、知的財産が 1,879 件、94.0%とそのほとんどを占めている。

相談種別

上段（系列 1）：件数、下段（系列 2）：構成比率

知的財産	技術相談	経営相談	資金相談	海外展開	その他	計
1,879	32	27	29	21	9	1,997
94.0	1.6	1.4	1.5	1.0	0.5	100.0

受付種別では、窓口来訪者が 972 件、49.9%で最も多く、次いで電話による 495 件、25.4%、訪問の 328 件、16.8%となっている。

受付種別

上段（系列 1）：件数、下段（系列 2）：構成比率

窓口	電話	メール	訪問	その他	計
972	495	138	328	16	1,949
49.9	25.4	7.1	16.8	0.8	100.0

相談項目を見てみると、国内出願手続が1,018件、32.7%で、次に類似案件調査527件、16.9%、産業財産権制度440件、14.1%と続いている。

相談項目		上段（系列1）：件数、下段（系列2）：構成比率			
技術相談	経営相談	資金相談	海外展開	国内出願手続	海外出願手続
106	81	30	29	1,018	42
3.4	2.6	1.0	0.9	32.7	1.4
産業財産権制度	電子出願関連	技術移転関連	地域ブランド	類似案件調査	出願料金等
440	135	60	69	527	194
14.1	4.4	1.9	2.2	16.9	6.2
中間手続	侵害（国内）	侵害（海外）	特許庁施策	その他	計
185	87	16	41	52	3,112
6.0	2.8	0.5	1.3	1.7	100.0

才、窓口支援担当者会議

毎月上旬に窓口支援担当者連絡会議を開催（年12回）し、担当ごとに、前月の活動状況報告や事例の紹介、課題・問題点などについて協議・検討し情報交換と意思の疎通を図った。

力、電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用実績は、年間を通じて毎月ほぼ同様の利用状況で推移をしている。職業別では、中小企業の利用が104人中75人（72.1%）と大半を占めており、製造業及びサービス業がほぼ同数で、二業種で58人とそのほとんどを占めている。地域別では、電子出願支援用端末機器を設置する静岡市の利用が104人中48人と最も多く、窓口が周知されていることと利便性が大きく影響をしていることが考えられる。

キ、公的機関、支援機関との連携の実績

1) 連携した公的機関・支援機関等

連携した公的機関及び支援機関は下記のとおりである。

静岡県、浜松市、沼津市、しづおか産業創造機構（中小企業支援センター）、はままつ産業創造センター（中小企業支援センター）、ぬまづ産業振興プラザ（中小企業支援センター）、静岡県国際経済振興会、静岡県中小企業団体中央会、各商工会議所、静岡県商工会連合会、静岡県工業技術研究所、大学等研究機関、日本弁理士会、金融機関、コーディネータネットワーク会議

2) 連携会議等の開催状況

①しづおか産業創造機構の担当者及び県の担当者と窓口支援担当者が、情報交換や協力体制の確認などをを行うための会議を2回開催し、それぞれの活動状況や支援方法の確認・検討協議等を行い連携の強化を図った。

（会議開催日）

第1回 平成23年8月1日

第2回 平成23年12月5日

②支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口事業支援機関連携会議を2回開催した。会議の参加者は静岡県、沼津市、浜松市、（財）しづおか産業創造機構、ぬまづ産業振興プラザ、はままつ産業創造センター及び当協会から、各機関の管理者や担当者、統括コーディネータ、特許流通アドバイザーなどが集まり、本事業の目的を再確認し、それぞれの活動状況や共同支援の実例、課題や問題点、今後の活動方法などについて協議・検討が行われ、より一層連携強化が図られた。

（会議開催日）

第1回 平成23年12月5日

第2回 平成24年2月6日

ク、事業の周知、広報活動の実績

1)ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

2)事業内容リーフレット等の作成

見開きA3のリーフレットを、合計4,500部作成、配布した。配布先は、県内企業、商工会議所等関係機関等である。

3)新聞等広告媒体の活用

①静岡新聞への掲載

「知財総合支援窓口の開設」について、平成23年7月12日の『静岡新聞』の朝刊に、県内3ヶ所に知財総合支援窓口が設置された記事が掲載された。

②地方情報誌への掲載

静岡ビジネス社の平成23年9月5日号『静岡ビジネスレポート』に、「知財総合支援窓口の開設」の記事が掲載された。内容は、静岡県発明協会の一般社団法人化、知財総合支援窓口事業、知的財産流通促進事業などが説明され、静岡県副知事を表敬訪問した写真などが掲載された。

4. 公報等各種情報提供

①特許情報サービス(23.4~24.3)

ア、特許公報類の閲覧サービス

区分	公開特許	公開実用新案	公告特許	公告実用新案	特許公報	実用新案	登録実用新案	意匠公報	商標公報	その他	合計
件数	90	47	56	40	67	35	48	20	87	16	506

イ、特許公報類の複写サービス

区分	公開特許	公開実用新案	公告特許	公告実用新案	特許公報	実用新案	登録実用新案	意匠公報	商標公報	その他	合計
件数	203	3	20	6	148	2	0	307	18	246	953

ウ、特許情報オンラインサービス(パトリス)

種別	検索サービス	照会サービス	合計
回数	37	0	37

②県内の特許公報等分類別動向調査(23.4~24.3)

区分(注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	366	983	130	20	144	506	680	774	3,603
特許公報	302	737	77	23	101	431	673	812	3,156
登録実用新案公報	96	41	4	3	8	16	12	9	189
再公表特許公報(注2)	14	15	19	0	1	12	15	13	89
合計	778	1,776	230	46	254	965	1,380	1,608	7,037

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙

E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気

(注2) PCT(国際特許協力条約)に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

③先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

④特許公報類の閲覧サービス

特許電子図書館システム（IPDL）や特許情報オンラインサービス（パトリス）を利用した特許公報類の閲覧・複写サービスを行った。

5. 知的財産権に係わる人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア、研究会活動 「産業財産権実務関連研究部会（通称：パテント部会）」

県協会会員の産業財産権関連実務の向上を目的として、毎月第3水曜日に会員による事例発表や弁理士等による実務講演会並びに工場見学等を開催し、産業財産権に関わる実務の研鑽に努めた。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	平成23年4月20日	講演会 「中小企業こそ知財活用」 講師；(有)浅原工業 代表取締役社長 浅原 克好 氏 静岡県発明協会 特許流通AD 風間 泰寛 氏	23名	ペガサート
第2回	平成23年5月18日	研究会 「特許こと始め [1] 」 講師；東山特許事務所 弁理士 東山 喬彦 氏	8名	ペガサート
		研究会 「企業における知財管理 “こうすれば良かったあれこれ”」 司会進行；Sun Lingmu Office 鈴木 直博 氏	16名	
第3回	平成23年9月21日	研究会 「特許こと始め [2] 」 講師；東山特許事務所 弁理士 東山 喬彦 氏 アル国際特許事務所 弁理士 八木 秀幸 氏	5名	ペガサート
		研究会 「企業における知財管理 “こうすれば良かったあれこれ #2”」 司会進行；Sun Lingmu Office 鈴木 直博 氏	11名	
第4回	平成23年10月19日	講演会 「共同研究開発における リーガルリスクマネジメント」 講師；(株)プロファウンド 代表取締役 石橋 秀喜 氏	26名	ペガサート
第5回	平成23年11月18日	見学会 ①臼井国際産業(株)本社、協和工場、長沢工場 ↓ ②静岡県沼津工業技術支援センター ↓ ③キリンディスティラリー富士御殿場蒸溜所	22名	

第6回	平成23年12月21日	研修会 「企業紹介～エウレカ・ラボ㈱」 講師；エウレカ・ラボ㈱ 代表取締役 理学博士 片山 誠二 氏	25名	ペガサート
		研修会 「企業紹介～㈱フジマシン」 講師；㈱フジマシン 代表取締役社長 芦川 能成 氏		
		講演会 「工業所有権協力センターの技術者が語る 先行技術調査の裏話」 講師；一般財団法人工業所有権協力センター 主席部員 茅沼 完治 氏		
第7回	平成24年2月15日	勉強会 判例研究勉強会「餅」	20名	ペガサート
第8回	平成24年3月19日	勉強会 判例研究「切り餅事件の一連の解説」 講師；長島・大野・常松法律事務所 早稲田大学法科大学院客員教授 弁護士 三村 量一 氏	24名	ペガサート

6. 会議等

- (1)会計監査 平成23年 5月19日 当協会
- (2)総会 平成23年 6月27日 静岡県産業経済会館
- (3)理事会 平成23年 4月18日 静岡県産業経済会館
平成23年 5月26日 静岡県産業経済会館
平成23年 6月27日 静岡県産業経済会館
平成23年 7月28日 静岡県庁経済産業部
平成23年 11月14日 静岡市产学交流センター
平成24年 1月30日 静岡市产学交流センター
- (4)関東地方発明表彰選考委員会
平成23年 8月26日 ベルクラシック甲府（山梨）
- (5)関東地方発明表彰式典
平成23年 11月30日 ベルクラシック甲府（山梨）

7. 機関誌「知財情報しづおか」の発行

- 平成23年 6月1日 2011 VOL. 1 NO. 1
- 平成23年 9月1日 2011 VOL. 1 NO. 2
- 平成23年 12月1日 2011 VOL. 1 NO. 3
- 平成24年 3月1日 2011 VOL. 1 NO. 4

収支決算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 23年4月1日から平成 24年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入	[4,120,000]	[3,337,500]	[782,500]
法人会費	3,130,000	2,567,500	562,500
個人会費	940,000	705,000	235,000
賛助会員会費	50,000	65,000	▲ 15,000
② 事業収入	[48,150,000]	[41,230,143]	[6,919,857]
発明奨励事業収入	50,000	50,000	0
情報サービス複写事業収入	400,000	170,039	229,961
情報サービス刊行物事業収入	250,000	153,476	96,524
情報サービス検索事業収入	180,000	183,217	▲ 3,217
都道府県受託収入 I	9,370,000	9,370,263	▲ 263
局受託収入・特許等活用支援事業	37,900,000	31,303,148	6,596,852
③ 発明奨励等収入	[0]	[400,000]	[▲ 400,000]
一般発明奨励等収入	0	400,000	▲ 400,000
④ 雑収入	[212,000]	[4,217,813]	[▲ 4,005,813]
受取利息	2,000	5,909	▲ 3,909
雑収入	210,000	4,211,904	▲ 4,001,904
事業活動収入計	52,482,000	49,185,456	3,296,544
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	[48,452,055]	[47,120,719]	[1,331,336]
発明奨励発明展事業費支出	1,050,000	1,683,893	▲ 633,893
発明奨励表彰式事業費支出	531,000	984,188	▲ 453,188
発明奨励発明クラブ運営費支出	11,000	0	11,000
発明普及会員管理費支出	1,970,000	863,148	1,106,852
特許制度普及事業費支出	1,974,000	2,564,664	▲ 590,664
特許情報発信事業費支出(複写事業)	80,000	68,378	11,622
特許情報発信事業費支出(刊行物事業)	80,000	97,318	▲ 17,318
特許情報発信事業費支出(情報検索事業)	80,000	185,719	▲ 105,719
その他事業費支出	430,000	0	430,000
都道府県受託事業費 I 支出	8,971,108	9,370,263	▲ 399,155
特許等活用支援事業支出	33,274,947	31,303,148	1,971,799
② 人件費支出	[4,269,292]	[1,218,826]	[3,050,466]
給料手当支出	4,000,672	717,806	3,282,866
法定福利費支出	0	466,732	▲ 466,732
退職給付支出	268,620	0	268,620
福利厚生費支出	0	34,288	▲ 34,288
③ 事務費支出	[6,662,653]	[2,760,149]	[3,902,504]
水道光熱費支出	1,500,000	842,471	657,529
通信費支出	200,000	210,882	▲ 10,882
賃借料支出	700,000	601,020	98,980
運送費支出	50,000	5,081	44,919
旅費交通費支出	50,000	70,250	▲ 20,250
消耗品費支出	500,000	370,922	129,078
図書費支出	10,000	15,750	▲ 5,750
会議費支出	800,000	205,390	594,610
當稽費支出	12,000	0	12,000
支払手数料支出	230,000	118,654	111,346
租税課金支出	200,000	2,100	197,900
雜支出	2,410,653	317,629	2,093,024
④ 他勘定振替	[0]	[▲ 2,815,800]	[2,815,800]
他勘定振替	0	▲ 2,815,800	2,815,800
事業活動支出計	59,384,000	48,283,894	11,100,106
事業活動収支差額	▲ 6,902,000	901,562	▲ 7,803,562

収支決算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 23年4月1日から平成 24年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	[0]	[0]	[0]
① 特定資産取崩収入	[0]	[0]	[0]
発明奨励等助成金取崩収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	[32,070,320]	[39,627,575]	[▲ 7,557,255]
発明奨励等助成金支出	28,098,000	35,655,255	▲ 7,557,255
退職給付引当資産支出	3,972,320	3,972,320	0
投資活動支出計	32,070,320	39,627,575	▲ 7,557,255
投資活動収支差額	▲ 32,070,320	▲ 39,627,575	7,557,255
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	0	1,000,000	▲ 1,000,000
財務活動支出計	0	1,000,000	▲ 1,000,000
財務活動収支差額	0	▲ 1,000,000	1,000,000
当期収支差額	▲ 38,972,320	▲ 39,726,013	753,693
前期繰越収支差額	41,525,834	41,525,834	0
次期繰越収支差額	2,553,514	1,799,821	753,693

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	447,864	0	447,864
静岡銀行本店	▲ 714,468	0	▲ 714,468
所得税預り金	1,162,332	0	1,162,332
未収入金	14,955,208	0	14,955,208
未収入金①	14,955,208	0	14,955,208
流動資産合計	15,403,072	0	15,403,072
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
発明奨励等助成金	35,655,255	0	35,655,255
発明奨励等助成資産	35,655,255	0	35,655,255
退職給付引当資産	3,972,320	0	3,972,320
退職給付引当資産	3,972,320	0	3,972,320
特定資産合計	39,627,575	0	39,627,575
固定資産合計	39,627,575	0	39,627,575
資産合計	55,030,647	0	55,030,647
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	159,919	0	159,919
未払金①	159,919	0	159,919
預り金	1,162,332	0	1,162,332
預り金①	1,162,332	0	1,162,332
短期借入金	12,281,000	0	12,281,000
静岡銀行本店	12,281,000	0	12,281,000
流動負債合計	13,603,251	0	13,603,251
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,972,320	0	3,972,320
退職給付引当金	3,972,320	0	3,972,320
固定負債合計	3,972,320	0	3,972,320
負債合計	17,575,571	0	17,575,571
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
発明奨励等助成資産	35,655,255	0	35,655,255
指定正味財産合計	35,655,255	0	35,655,255
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(35,655,255)	(0)	(35,655,255)
2. 一般正味財産	1,799,821	0	1,799,821
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	37,455,076	0	37,455,076
負債及び正味財産合計	55,030,647	0	55,030,647

(注)「公益法人会計基準の運用指針」(内閣府公益認定等委員会)により、前事業年度については記載していない。

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成23年4月1日から平成 24年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,337,500]	[0]	3,337,500]
法人受取会費	2,567,500	0	2,567,500
個人受取会費	705,000	0	705,000
賛助会員受取会費	65,000	0	65,000
② 事業収益	[41,230,143]	[0]	41,230,143]
発明奨励事業収益	50,000	0	50,000
情報サービス複写事業収益	170,039	0	170,039
情報サービス刊行物事業収益	153,476	0	153,476
情報サービス検索事業収益	183,217	0	183,217
都道府県受託収益 I	9,370,263	0	9,370,263
局受託収入・特許等活用支援事業	31,303,148	0	31,303,148
③ 受取発明奨励等	[5,632,745]	[0]	5,632,745]
受取一般発明奨励等	400,000	0	400,000
受取助成金振替額	5,232,745	0	5,232,745
④ 雑収益	[4,217,813]	[0]	4,217,813]
受取利息	5,909	0	5,909
雑収益	4,211,904	0	4,211,904
経常収益計	54,418,201	0	54,418,201
(2) 経常費用			
① 事業費			
① 事業費	[47,120,719]	[0]	47,120,719]
発明奨励発明展事業費	1,683,893	0	1,683,893
発明奨励表彰式事業費	984,188	0	984,188
発明普及会員管理費	863,148	0	863,148
特許制度普及事業費	2,564,664	0	2,564,664
特許情報発信事業費(複写事業)	68,378	0	68,378
特許情報発信事業費(刊行物事業)	97,318	0	97,318
特許情報発信事業費(情報検索事業)	185,719	0	185,719
都道府県受託事業費 I	9,370,263	0	9,370,263
特許等活用支援事業	31,303,148	0	31,303,148
② 人件費	[5,191,146]	[0]	5,191,146]
給料手当	717,806	0	717,806
法定福利費	466,732	0	466,732
退職給付費用	3,972,320	0	3,972,320
福利厚生費	34,288	0	34,288
③ 事務費	[2,760,149]	[0]	2,760,149]
水道光熱費	842,471	0	842,471
通信費	210,882	0	210,882
賃借料	601,020	0	601,020
運送費	5,081	0	5,081
旅費交通費	70,250	0	70,250
消耗品費	370,922	0	370,922
図書費	15,750	0	15,750
会議費	205,390	0	205,390
支払手数料	118,654	0	118,654
租税課金	2,100	0	2,100
雜費	317,629	0	317,629
④ 他勘定振替	▲ 2,815,800]	[0]	▲ 2,815,800]
他勘定振替	▲ 2,815,800	0	▲ 2,815,800
経常費用計	52,256,214	0	52,256,214
当期経常増減額	2,161,987	0	2,161,987

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成23年4月1日から平成 24年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,161,987	0	2,161,987
一般正味財産期首残高	▲ 362,166	0	▲ 362,166
一般正味財産期末残高	1,799,821	0	1,799,821
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	[▲ 5,232,745]	[0]	[▲ 5,232,745]
一般正味財産への振替額	▲ 5,232,745	0	▲ 5,232,745
当期指定正味財産増減額	▲ 5,232,745	0	▲ 5,232,745
指定正味財産期首残高	40,888,000	0	40,888,000
指定正味財産期末残高	35,655,255	0	35,655,255
III 正味財産期末残高	37,455,076	0	37,455,076

財務諸表に対する注記

公益法人会計基準(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

1. 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3)固定資産の減価償却の方法
該当資産無し
- (4)引当金の計上基準
退職給付引当金:職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する
退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5)消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 発明奨励等助成特定資産	35,000,000	655,255	0	35,655,255
退職給付引当資産	0	3,972,320	0	3,972,320
合 計	35,000,000	4,627,575	0	39,627,575

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産 発明奨励等助成特定資産	35,655,255	(35,655,255)	(—)	(—)
退職給付引当資産	3,972,320	(—)	(—)	(3,972,320)
合 計	39,627,575	(35,655,255)	(0)	(3,972,320)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

補助金等の名称	金額
経常収益への振替額 特定資産取崩収入	5,232,745
合 計	5,232,745

附 屬 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	3,972,320	0	0	3,972,320

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
普通預金	▲ 714,468
静岡銀行本店	1,162,332
所得税預り金	
未収入金	
未収入金①	14,955,208
流動資産合計	15,403,072
2 固定資産	
(1) 特定資産	
発明奨励等助成金	35,655,255
発明奨励等助成資産	
退職給付引当資産	3,972,320
退職給付引当資産	
特定資産合計	39,627,575
固定資産合計	39,627,575
資産合計	55,030,647
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	
未払金①	159,919
預り金	
預り金①	1,162,332
短期借入金	
静岡銀行本店	12,281,000
流動負債合計	13,603,251
2 固定負債	
退職給付引当金	
退職給付引当金	3,972,320
固定負債合計	3,972,320
負債合計	17,575,571
正味財産	37,455,076

監査報告書

平成23年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

平成24年5月11日

監事 石田 稔

監事 東山 喬彦